

# 令和5年度 共に学び、生きる共生社会コンファレンス ひなたのつどい 「取組推進校発表」



宮崎県立延岡しろやま支援学校  
聴覚障がい教育部門



延岡わかあゆ支援学校



延岡ととろ聴覚支援学校



延岡たいよう支援学校



延岡しろやま支援学校

# 教育目標

## 学校の教育目標

心豊かでたくましく地域社会で生きぬく力の育成

### めざす学校像

- 笑顔があふれ、自立心に満ちた学校
- 個の伸長を図り、専門性を追求する学校
- 地域とともに可能性を高め合う学校

### めざす幼児児童生徒像

- 自ら考え、自分らしく**表現**する子供
- 学んだことを生かし、**実践**する子供
- 夢をもち、自ら**挑戦**する子供

### めざす教師像

- 子供に寄り添い、ともに夢を拓く教師
- 専門性を高め、確かに実践する教師
- 学校や地域社会に貢献する教師

# 学校の特色

## 延岡しろやま支援学校

### 聴覚障がい教育部門 (ととろ部門)

【設置学部】

幼稚部

小学部

中学部

### 肢体不自由教育部門 (わかあゆ部門)

【設置学部】

小学部

中学部

高等部

### 知的障がい教育部門 (たいよう部門)

【設置学部】

小学部

中学部

高等部

# 幼児児童生徒数（部門別）

令和5年12月1日現在

学部	聴覚障がい教育部門 (ととろ部門)	部門名		合計
		肢体不自由教育部門 (わかあゆ部門)	知的障がい教育部門 (たいよう部門)	
幼稚部	2			2
小学部	6	1 1	3 4	5 1
中学部	2	8	4 2	5 2
高等部		1 3	5 3	6 6
合計	10	3 2	1 2 9	1 7 1

# 学部の特徴

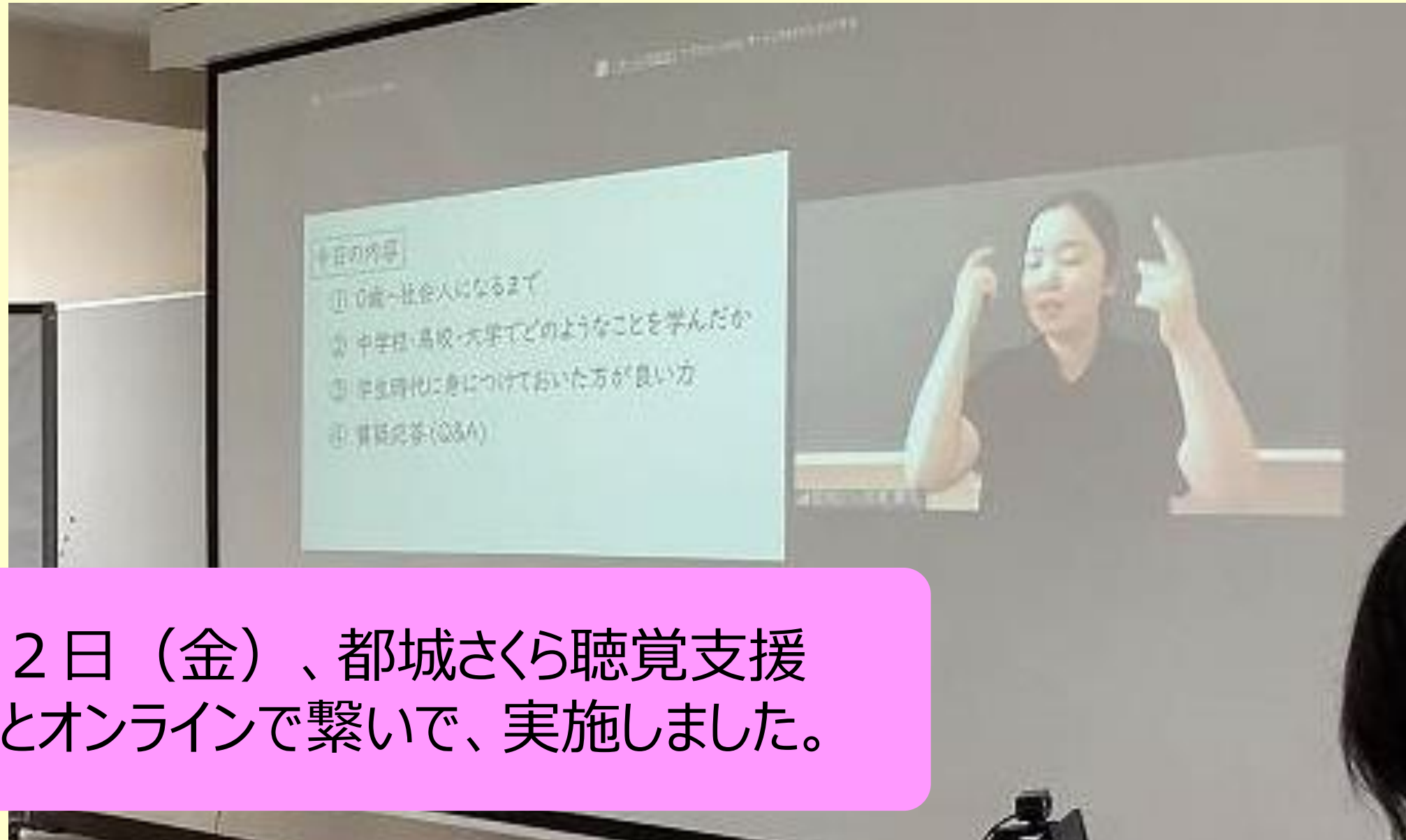
幼稚部	豊かな体験活動 基本的な生活習慣の確立 保護者支援（関係機関との連携）
小学部	基礎学力の育成 集団参加 基本的な生活習慣の定着 体力の向上
中学部	社会生活への適応 働く経験 <b>将来の進路に関する関心</b> 自主性の育成
高等部	社会性や豊かな人間性 自立と社会参加に向けた能力の伸長・定着 進路選択 就労支援 移行支援

# 今年度の取組

## 先輩と語る会を2回実施

	期 日	講 師	内容・方法
第1回	9月2日	聴覚障がい当事者 教諭 (宮崎県立都城さくら聴覚支援学校)	講話 (オンライン)
第2回	11月17日	志磨村 早紀 氏 (進行性難聴当事者・言語聴覚士)	講話・座談会 (対 面)

# 今年度の取組（9月：第1回先輩と語る会）



9月2日（金）、都城さくら聴覚支援学校とオンラインで繋いで、実施しました。



# 今年度の取組（9月：第1回先輩と語る会）



中学部生2名の他に、幼稚部の保護者も参加しました。

# 今年度の取組（11月：第2回先輩と語る会）



11月17日（金）、志磨村様に本校にお越しいただきました。

# 今年度の取組（11月：第2回先輩と語る会）



小学部生 4 名、中学部生 2 名の他に、幼稚部保護者も参加しました。

# 今年度の取組（11月：第2回先輩と語る会）



都城さくら聴覚支援学校中学部生、  
本校聞こえの通級指導教室利用生  
も、オンラインで参加しました。

# 今年度の取組（11月：第2回先輩と語る会）

- ① 自分の聞こえを自分でちゃんと知ること
- ② 自分のことを伝える方法を見つけること
- ③ コミュニケーションでは、双方向の歩み寄りが大事



# 今年度の取組（11月：第2回先輩と語る会）

## 「聞こえない」としか言えない

なぜ悲しい気持ちになるのだろうか

- 「聞こえない」としか言えないから  
⇒「できない」ことしか言えないと自信がない
  
- 「こうすればできる」ということまで言える必要  
⇒一緒に考えてくれる人はいますか？

# 今年度の取組（11月：第2回先輩と語る会）



講話の後は、参加者全員で座談会を行いました。  
参加者からの質問に、丁寧に答えてくださいました。

# 今年度の取組（11月：第2回先輩と語る会）



【例えば・・・】

Q 中学生の時には、どのようにコミュニケーションを取っていましたか？

Q 補聴器をつけて、嬉しかったことはなんですか？ など



# 今年度の取組（11月：第2回先輩と語る会）



先輩と語る会終了後も、志磨村さんを  
囲んでお話をしました。

# 取組の成果

- 成人聴覚障がい者の講話を聞くことで、色々な進路先があることを知ることができた。
- 進路先において支援を受けることができるということを知ることができた。  
そのためには、自分の聞こえや自分が使用している補聴器や人工内耳について知ることがとても大事であることを理解した。

# 取組の成果

○ 聴覚障がい者とだけでなく、色々な人とコミュニケーションを取るための方法を身につけておくことが大事であることを知った。

そのためには、学び続けることが大切であることを理解した。

# 取組後の生徒の感想

今日は先輩と語る会に来ていただきありがとうございました。  
ました。

志磨村さんの子供の頃から大学生まで話を聞いて、  
手話などを使わずに勉強や話合いをするのは大変だと思  
いました。

大学で支援を受けられるとは思わなかったです。

話を聞いて、手話を知らない人と話しをする方法を勉  
強していきたいと思いました。

いいお話を聞けて良かったです。

ありがとうございました。

# 取組後の生徒の感想

私達のために、たくさんのお話をしてくださって  
ありがとうございました。志磨村さんの積み重ねて  
きた努力や私たちに必要なことが分かりました。

これからも自分の事を見つめ、学び続けながら  
他者との対話に活かしていきたいと思います。

# 取組後の児童の感想

話を聞いてほくも、昔、聞えてないのに、聞  
えていたふりをして、「なぜ、ほくは聞こえないん  
だ」とジョックを受けました。自分のきこえを知る  
事や、人々の目について理解する事が大切だと  
思いました。言語聴覚士の資格をとるために、  
たくさん勉強して、努力をずっと続けた事がすこ  
いなと思いました。本当にありがとうございました。

# 今後の課題

- 「自分の聞こえ等について知ること。」、「様々なコミュニケーション手段を身につけること。」の2点について、教育課程の中でどのように指導していくか。

# 今後の課題

- 障がいの有無にかかわらず、共に活動できる場が増えるとよい。

今後、全障がい種への理解がさらに深まることで、地域で一人ひとりが充実した生活を送ることができるようになることをのぞむ。



# 「わかりやすい版 だれでもいつでも学べる社会へ」 文部科学省2020年3月発行)より

- 障害のある人自身にも、「自分はこんな学びがしたい。」と希望を伝えてもらうことも必要。
- どんな支援や配慮をしてほしいかが具体的に伝わることで、学びを提供する側も、障害者本人も安心して生涯学習に取り組めるようになる。

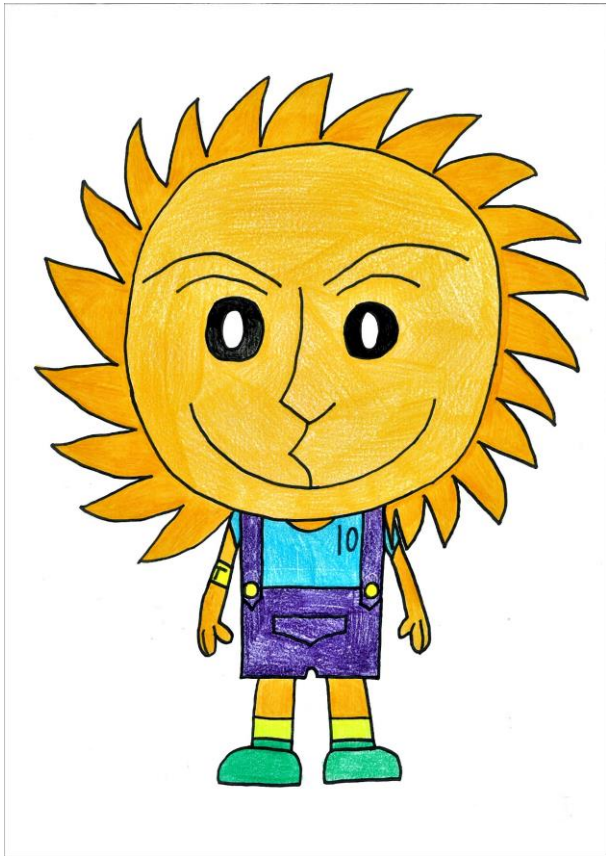
# 延岡市「かねのね」の申込みフォームより

Q 参加について、配慮してほしいことがあれば、記入してください。

# 取組を終えて

今回の学びを、これからの生活につなげていってほしい。

御静聴ありがとうございました。



宮崎県立延岡しろやま支援学校  
Nobeoka Shiroyama School for Challenged